

質 問 事 項

該当の□にチェックをお入れください。

該当しない場合、ご意見がある場合は欄にお書きください。

【1】3市共同資源物処理施設建設は平成22年3月に市議会で「白紙を含めた抜本的見直し決議」が出され、又、6月23日庁議に於いて当市内の想定地<現東大和暫定リサイクル施設用地への施設建設の受け入れは不可能>とした東大和市としての結論をどう思いますか。

A. 正しい B. 間違っている C. その他

※<C>の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

日本共産党市議団として、杣並区と寝屋川市に視察に行き、行政だけでなく健康被害にあか^地れている方々反対されている方々からも聞き取りを行い、3市共同資源物処理施設建設予定周辺のみで済ま^地ない不安懸念は当然のことと考えています。ごみ問題の抜本的解決から、住民の不安や懸念が払しょくされてい^地ないことから、現想定地への建設に反対です。

【1-1】【1】にて<A>と回答された方はその理由についてお答えください。

複数回答可

A. 市民の健康への懸念 B. 地域環境への懸念 C. 市の財政難

D. 地域住民の意見を尊重 E. 建設用地が狭小

F. 3市共同資源化推進について（報告）平成22年4月の内容を見て計画は困難だと判断した

G. その他

※<G>の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【1-2】【1】にて<C>の方はその理由をご記入ください。

【2】今後についても、平成22年6月の庁議の結論を尊重し、3市共同資源物処理施設の当市想定地での受け入れは不可能であるとの考えを維持されますか。お考えをお聞かせください。

A. 今後も想定地への建設は反対である

B. 今後の状況により建設に賛成する

B.今後の状況により建設に賛成するとお答えの方の理由をお聞かせください。

複数回答可

1. 今後は3市間の話し合いによっては、建設もあり得る

2. 今後、東大和市の財政が良くなった場合は建設もあり得る

3. その他

※<3.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【3】3市共同資源物処理施設建設を不可能とする3市間での話し合いに他の2市に提示できる施策がありましたらご記入ください。

何れも国のごみ行政における大量生産・大量消費・大量廃棄の構造の抜本的見直しが必要とす。また生産者責任を明確にするなど産業界の責任を明確にし、国と自治体あげてごみの減量に取り組まなければなりません。現想定地への建設の住民合意がえられなく不可能とした東大和市の判断を3市共通の理解とすることが最優先と承えます。

【4】他市の市長が協議拒否をしている中、東大和市は3市共同資源物施設建設計画の撤回に向けて、どのように円満解決すべきなのかお考えをお聞かせください。

【3】に同じ。

【5】今後、小平・村山・大和衛生組合との関係をどのように円滑に保っていくのか具体的な施策をお聞かせください。

3市共同のごみ処理からの撤退を意図したものでないことを理解してもらうこと。そのためにも東大和市の判断についての3市共通の理解を得ること。

【6】東大和市では容器包装プラスチックごみの処理（ペットボトルを除く）を民間委託しています。今後も民間委託を継続することについてどのようにお考えですか。

- A. 賛成 B. 反対 C. その他

※<C.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

市が委託している民間施設を視察したところ、オープン施設で健康・環境被害への対策がきわめて不十分であり、市の公的責任を果たすことが必要です。

【7】東大和市では容器包装プラスチックごみを除く、缶・ビン・ペットボトル等を現・東大和暫定リサイクル施設で行っていますが、その施設は作業による騒音の問題をかかえています。今後、どのような運用が市民や環境にとって有効と思いますか。お考えをお聞かせください。

- A. 近隣住民からの苦情等は考慮せず、現状のままで運用を行う
B. 近隣住民からの苦情等を考慮し、対策を実施して運用を行う
C. 他の地域にリサイクル場を移す
D. その他

※<D>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【8】将来、人口の減少化も進み、ごみの排出量も減って行くと推測されます。計画されています構成3市による資源物処理施設は多額な建設費用に加え高額な維持管理費も税金で賄うこととなります。

将来の財政圧迫要因となる可能性のある資源物処理施設（箱物）が必要とお考えですか。

- A. 必要 B. 不必要 C. その他

【9】今後の東大和市のゴミ処理全般について施策がございましたらご回答ください。

複数回答可

- A. ゴミ減量化のためゴミ袋の有料化を導入したい
B. 上物は作らずアウトソーシングを活用していく
C. その他

※<C.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください

減量しても廃棄物量は減りません。最終の処理施設^{4/5}は必要です。しかしその場合でも徹底したごみ排出量削減と住民合意を前提とし、財政を考慮すべきです。民間委託は、現状では健康・環境被害への対策がいさう弱まると考えられません。またリサイクルについてもマテリアルリサイクルの流し、サーマルリサイクルの流しなど決定的な対策が確定しないと見えません。

ごみ有料化による減量は一時的なものご有効かといえます。アクトーシングは、現状では健康・環境被害への懸念をいっそう拭き取すものです。発生抑制が決定的に抑えたい産業者責任を明確にするなど産業界の責任を明確とし、国と自治体あがってごみの減量にとりくまなくてはなりません。

【10】最後に南郷・立野・桜が丘地区を今後どのような地域として発展させていきたいか、お考えがあればご記入ください。

ヘリコプター騒音の軽減・解消。豪雨水害の改善・解消。保育園や児童保育所の建設など子育て環境の整備。スポーツ施設や公園整備など豊かさまちづくり。高齢者の見守りネットワーク確立や「買物難所」対策、特別養護老人ホーム建設など安心して住み続けられるまちづくり。未利用国有地の活用。地域の生活環境と調和した工業の振興。中小、小売店のにぎわいまちづくり。

氏名 尾崎 利一